

**今回の創表ニュースは3年生の生徒が作ってくれました！
生徒の実感による記事です。ぜひ、読んでください！！**

創造表現コース 舞台表現Ⅱ 「セリフを積む」

現在舞台表現の授業では、10月の成果発表会で公演予定の「女クラ！」の稽古を進めています。「女クラ！」は、私立文型希望の男子が異様に少ないため、学年唯一の女子クラス、「女クラ」になってしまった3年A組女子生徒たちの1年を描く学園コメディです。

昨年末からシーンごとに稽古を進めて来ましたが、今回は「6月。教育実習生が来た！」のシーンです。男子大学生の教育実習生が来るという情報を聞きつけた女クラは、皆イケメン実習生の妄想をパンパンに膨らませていましたが、やって来た実習生は・・・、という展開。



セリフは全員完璧ですが、間の取り方や動きでみんな頭を悩ませていました。しかし、品川浩幸先生から、1つ1つ細かい修正やアドバイスをしていただくことで、演技のレベルを高めていくことができました。

今回の授業で教えていただいたのは、「セリフを積む」というテクニック。前の人のセリフに乗かってセリフを言うことです。セリフにはそれぞれ役目があり、その働きを確実にさせるには、そういったテクニックも必要です。感情の起伏が多いこのシーンには特に有効で、これを駆使することで場面にリアリティーや緊張感が生まれていきました。

演劇というのは、創り上げるのに実に時間と労力がかかるものです。でも、時間と労力をかけて1つのシーンが完成していく過程はとてもワクワクします。

今回はファーストシーン、「4月。3年A組は女クラだった。」に取り組めます。まさかの女子クラスに、3年A組が荒れに荒れるシーン。男のいない1年に落胆し、やさぐれる女子生徒の姿はどのように表現されていくのでしょうか。



(文 3年 T.R.)